

# 県連情報

群馬県生活協同組合連合会

前橋市大手町 3-19-3

TEL 027 - 234 - 2376

11月号 (No75)

2011年11月1日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます

<http://gunma.kenren-coop.jp/>

Eメール: [mail@gunma.kenren-coop.jp](mailto:mail@gunma.kenren-coop.jp)

講演する加山久夫館長

## 第43回群馬県生協大会を開催

10月27日(木)

### 2部で「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」を上映

第43回群馬県生協大会が10月27日(木)、群馬県公社総合ビルホールで開催され、会員生協の組合員・役職員など202名が参加しました。

第一部の式典では、松本勉枝実行委員長・中嶋源治県連会長の主催者挨拶に続き、



中嶋源治会長理事

7名の来賓を代表して群馬県生活文化部消費生活課金田昇課長、日本生協連中央地連本間章治事務局長、群馬県農業協同組合中央会藤井啓太郎参事、生活協同組合連合会コープネット事業連合赤松光理事長から祝辞をいただきました。次いで団体表彰(7生協13団体)と永年勤続表彰(30年勤続20名・15年勤続65名の役職員)が行われ、中嶋会長から表彰状や記念品が贈られました。最後に受賞者を代表してコープぐんまの富沢右二さん(30年勤続表彰)からスピーチをいただきました。



松本勉枝実行委員長



永年勤続表彰の様子

第二部では、小惑星「いとかわ」の調査から苦闘のすえ帰還をはたした「はやぶさ」の7年間60億キロメートルに及ぶ旅をまとめた映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」(角川)を上映しました。



団体表彰の様子

参加者からは、「大災害があった今だから、もっと大きな中で自分や地球のことを考えることができ良かった」「あきらめないことが大切なんだと再認識させられました」などの感想が寄せられました。

#### 《ご来賓の皆様》

群馬県生活文化部消費生活課 課長

金田 昇 様

日本生協連合会中央地連 事務局長

本間 章治 様

群馬県農業協同組合中央会 参事

藤井 啓太郎 様

生活協同組合連合会コープネット事業連合 理事長 赤松 光 様

中央労働金庫群馬県本部 副本部長

大塚 良貞 様

群馬県高齢者生活協同組合 理事長

小野 誠昭 様

富士重工業群馬製作所生活協同組合 専務理事

剣持 隆 様



写真は、(左上)金田 昇様(県消費生活課長)、(上右)本間 章治様(日生協中央地連事務局長)  
(下左)藤井 啓太郎様(JA群馬中央会参事)、(下右)赤松 光様(コープネット事業連合理事長)

# TPP交渉参加反対で県民集会に2200名が集結

群馬県消団連から中嶋源治会長が連帯のあいさつ

10月31日(月)

「TPP交渉参加に反対し日本の農業・暮らしを守る群馬県民集会」が10月31日(木)、ベイシア文化ホールで開かれ農林漁業者、消費者、医療関係者など県民2200人が参加し、会場となった大ホールは参加者の熱気に包まれました。県民集会は「TPP交渉への参加に反対し食と地域・生活を守る群馬県ネットワーク」(農協グループを中心とする農林漁業団体のほか消費者団体、医療福祉団体など74団体が参加)と群馬県農業協同組合中央会(JA群馬中央会)、群馬県農協農政対策本部が主催しました。

第1部の冒頭、JA群馬中央会の長岡武会長は「TPPは農業のみならず医療、保険、食品の安全性などの仕組みや基準の変更を迫るなど、国民に襲いかかる大津波だ。本当の影響は何か、何をすべきかを考え、全国に広げよう」と訴えました。

次いで「TPP亡国論」と題して、中野剛志氏(京



中野剛志氏

都大学大学院工学研究科准教授)による講演会が開催されました。中野氏は「TPPに参加しても日本の輸出先は米国しかなく、米国の狙いは日本市場しかない」「交渉は利害一致国のない日本に有利には絶対に進まない」「『開国』宣言は“日本は閉鎖的”というイメージを流布す



中野剛志先生による講演会「TPP亡国論」

るため、実際には十分に開かれている」と、推進の論拠には道理がないと述べ、「米国は、ドル安戦略とTPPの組み合わせで日本の雇用を奪い、自国の雇用拡大をめざしている」「いったん交渉に参加したら、どんな不利なルールでも飲まざるを得なくなる」「TPPにはISD条項というものがあり、自国民の健康や安全を自国の基準で守れなくなる」と、交渉参加の本質や危険な狙いについて明らかにし、阻止のためには大きな国民運動が必要ではないか、と結びました。

第2部では、JA群馬中央会長岡武会長の主催者挨拶、JA群馬中央会池田隆政専務理事によるTPP反対運動の経過報告、次いで群馬県ネットワーク参加団体からの連帯挨拶、大澤知事や地元選出の国会議員からの来賓挨拶と続き、「TPP交渉参加に反対し日本の食と暮らし・いのちを守る特別決議」を採択、最後にガンバロウを三唱して閉会しました。

群馬県ネットワーク参加団体から、群馬県消団連の中嶋源治会長(県連会長理事)が最初に連帯挨拶に立ち、「日本の農業を壊滅的に追いやるTPP導入は絶対に許す訳にはいかない。TPP交渉参加阻止に向け共に頑張りましょう」と決意を述べました。群馬県ネットワークには消費者団体として群馬県消団連、前橋市消団連、生活クラブ生協が参加し、群馬県生協連はオブザーバーとして参加しています。また、医療福祉団体からは群馬県医師会、県歯科医師

会、県薬剤師会、県看護協会などが参加し、大きな広がりを見せています。

集会に先立って、群馬県農協青年部協議会や群馬県農民運動連合会など農業団体200人が参加し、前橋市内で軽トラック・大型トレーラーを連ねる大デモンストレーションが行われ、TPP交渉参加阻止を市民に訴えました。



通路やロビーにまで参加者が溢れた県民集会

## 第55回群馬県消費者大会が開催されました

10月13日(木)

第55回群馬県消費者大会（実行委員長：中嶋源治県連会長）が10月13日（木）、職業支援センターいせさき（伊勢崎市）で開催され、18団体から99名が参加しました。大会では中嶋源治実行委員長のあいさつに続き、群馬県生活文化部消費生活課金田昇課長から祝辞をいただきました。

第一部は、八田直樹県消団連事務局長から以下の報告が行われました。

- I. 基調報告
- II. 第55回群馬県消費者大会に向けた実行委員会報告
- III. 群馬県への消費者行政に関する要請事項と回答について
- IV. 市町村の消費者行政調査結果につて



金田昇消費生活課長



群馬県消費者大会のようす

続いて清野紀美子実行委員（コープぐんま）から大会決議「大震災の被災地復興に責任をもった支援、原発依存から再生可能・自然エネルギーへの政策転換を求めます」が提案され、満場の拍手で確認されました。

第二部の記念講演では、群馬県生活文化部消費生活課企画指導係補佐丸山康治氏から「群馬県の消費者行政と消費者被害の実態」をテーマにご講演をいただきました。地方消費者行政活性化基金を活用した群馬県の消費者行政活性化の取り組みや、消費者被害防止対策、消費者相談の充実・被害救済の取り組みなど

について、パワーポイントを使って大変分かりやすく講演して下さい、会場との意見交換も行い理解を深めることができました。

## 新・食品安全基本計画キックオフフォーラムが開催されました

全国消団連阿南事務局長が講演 中嶋県連会長はパネリストで参加

10月24日(月)

群馬県は今年度から「みんなで築き支えるぐんまの食の安全・安心の実現」を目標に掲げ、「新・食品安全基本計画」をスタートさせました。この計画を広く県民に知っていただき、「食の安全・安心」について、改めて考える機会として、10月24日（月）、群馬産業技術センターにおいて「新・食品安全基本計画キックオフフォーラム」が開催されました。キックオフフォーラムは食の安全・安心県民ネットワーク（中嶋源治会長）と群馬県が協働で開催しました。

基調講演には講師として全国消費者団体連絡会の阿南久（あなん・ひさ）事務局長が招かれ、「食の安全・安心を考える～消費者、生産者、事業者の役割～」と題して講演が行われました。阿南事務局長は、全国の消費者団体をつなぎ消費者の情報把握をサポートする活動や、“ホントのことを知りたい！”という消費者の要望に応える活動、学習会の開催などの全国消団連の活動を通して、「どんな安全情報も“信頼”がなければ、安心には結びつかない」と強調していました。



阿南事務局長



パネルディスカッションの様子  
(右から2人目が中嶋県連会長)

続くパネルディスカッションは小山孝食品安全局長がコーディネーターを務め、「食の安全・安心について今望むこと」「食品のリスク～伝え方と伝わり方～」をテーマに、パネリストがそれぞれの意見表明を行いました。パネリストは阿南久氏（消費者：全国消団連事務局長）、中嶋源治氏（消費者：群馬県生協連会長）、松村久子氏（生産者：（有）あずま産直ネット代表取締役）、松島一清氏（事業者：タカナシ乳業（株）群馬工場工場長）、関口雅弘氏（報道：（株）上毛新聞社総務部長）、武井祥一（行政：県健康福祉部食品安全局食品安全課次長）の各氏でした。

## 女性協が視察研修会を開催

10月1日(土)

東京大空襲・戦災資料センターと江戸東京博物館を見学

群馬県生協連女性協議会（林かの子会長）は10月1日（土）、恒例の視察研修会を開催し、7生協・県連から39名が、「東京大空襲・戦災資料センター」（江東区）と「江戸東京博物館」（墨田区）を見学しました。女性協運営委員の感想を紹介します。

◎『都内の道路事情がよく、江戸東京博物館に予定より4～50分早く着き、落ち着いて見学ができた。それでも、特別企画「ベネツィア展」をゆっくり観た人は常設展は駆け足になったようだった。』

◎『帰りの車中で一言ずつ感想を語り合ったのは良かった。女性協の視察研修会を楽しみにしている人やまた参加したいという方が幾人もいたので有意義な視察研修会だった。』

◎『戦災資料センターは個人ではなかなか行かないところだが行けてよかったと思う。東京大空襲を後世に伝えるための資料のすごさに驚いた。』

◎『参加者の多くは「江戸東京」をメインに据えて申し込んだのではないかと思われるが、車中での感想を聞くと、戦災資料センターの見学のほうが心に落ちるものがあったという印象があった。』

◎『後世に残すということは、どんな世界を残したいのかを考えることであり、どういふ世界で子供たちを育てたいのかを問うことでもある。そんなことを考える機会であったと思う。』

◎『今回の視察研修会も、重みのある(?)企画とお楽しみ企画とを組み合わせていたのが良いのかも。』



東京大空襲・震災資料センターを見学

## ●●● 県連便り ●●●

### 県連活動日程

- 11月 4日 県消団連幹事会
- 6日 まえばし秋穫楽市
- 7日 県連事務局会議
- 8日 第4回県連組織部会、TPP 交渉参加反対国民集会
- 9日 女性協運営員会
- 10日 県消団連・県ハイヤー協会懇談会  
地連大規模災害対策協議会(～11)
- 11日 1日公正取引委員会
- 16日 中央地連行政生協関係者連絡会議  
悪質商法被害防止講演会
- 17日 第3回県連理事会
- 18日 地連都県連事務局会議
- 19日 食育フェスタ in 高崎
- 20日 消費生活タウンミーティング
- 21日 群馬県社会福祉大会
- 22日 生協大会・消費者まつり実行委員会
- 28日 女性協・JA女性協交流会
- 29日 中央地連運営委員会
- 30日 県消団連視察 (HACCP 施設)

### お知らせ

#### 悪質商法被害防止講演会

「詐欺の心理学」

講師:宮田 隆 氏

日時:平成23年11月16日(水)

開場 13:00 開演 13:30

会場:高崎シティーギャラリー コアホール

申込みは県消費生活課まで 027-226-2284

先着 250名

#### 消費生活タウンミーティング

in 板倉・明和

「あなたの町の消費生活センター活用法」

講師:弁護士 村 千鶴子 氏

日時:平成23年11月20日(日)

13:30～15:30

会場:板倉町中央公民館

申込みは県消費生活課または県生協連まで